

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年1月30日

協議会名: 三田市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
神姫バス(株)	三田駅～市立図書館前～みなぎ台	令和6年3月に策定した三田市地域公共交通計画において、当該路線を事業対象バス路線として位置付けた。関係者と意見交換を行いながらニーズに応じた公共交通の移動確保維持に向け検討している。	A 三田市と市外間を連絡し、買物、通院など多様な目的での生活利用についても寄与することができた。	A 運行を継続し、収支率の目標値55%に対し、59%となり、目標を達成している。燃油価格高騰や人材不足等の厳しい経営環境が続く中、国補助制度を活用し、三田市と市外間の連絡により生活に必要な移動手段の確保・維持を行なった。	・バスロケーションシステムやICカード利用データを用いた、利便性向上、利用促進策についての検討を継続。 ・並走路線を含めた再編による需要の集約を検討。 ・三田市内の地域内フィーダー交通との接続・連携を強化。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年1月30日

協議会名: 三田市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
神姫バス(株)	三田市民病院～三田駅北口～乙原バレイ	令和6年3月に策定した三田市地域公共交通計画において、当該路線を事業対象バス路線として位置付けた。関係者と意見交換を行いながらニーズに応じた公共交通の移動確保維持に向け検討している。	A 市民病院へアクセスする貴重な路線であるとともに、生活利用についても寄与することができた。	A 輸送人員は目標値2,827人/年に対して2,436人/年となり、目標達成できなかったが、令和6年度の輸送人員2,374人/年から増加した。市補助額は、目標値566千円に対して720千円となり、目標達成できなかった。地域内でのバス停までの移動サービス(自家用有償旅客運送)を継続することで、利用者の確保に繋がっている。	バス運転手不足による市内路線の減便・休止が生じている。市や市内団体も協力し運転士不足の課題解消に取り組むことで路線の利便性維持に努める。合わせて、イベント出展や出前講座などの啓発活動によるモビリティマネジメントの推進により自動車から公共交通利用への転換を図る。
神姫バス(株)	三田駅北口～乙原バレイ	令和6年3月に策定した三田市地域公共交通計画において、当該路線を事業対象バス路線として位置付けた。関係者と意見交換を行いながらニーズに応じた公共交通の移動確保維持に向け検討している。	A 主に通勤や通学に加えて、生活利用についても幅広い時間帯において寄与することができた。	A 輸送人員の目標値73,407人/年に対して84,819人/年となり、目標達成した。市補助額は、目標値10,189千円に対して12,469千円となり、目標達成できなかった。地域内でのバス停までの移動サービス(自家用有償旅客運送)を継続することで、利用者の確保に繋がっている。	バス運転手不足による市内路線の減便・休止が生じている。市や市内団体も協力し運転士不足の課題解消に取り組むことで路線の利便性維持に努める。合わせて、イベント出展や出前講座などの啓発活動によるモビリティマネジメントの推進により自動車から公共交通利用への転換を図る。
神姫バス(株)	市役所前～三田駅北口～乙原バレイ	令和6年3月に策定した三田市地域公共交通計画において、当該路線を事業対象バス路線として位置付けた。関係者と意見交換を行いながらニーズに応じた公共交通の移動確保維持に向け検討している。	A 主に生活利用や公共施設の利用など昼間の移動に寄与することができた。	B 輸送人員の目標値21,109人/年に対して20,095人/年となり、目標達成できなかったが、利用者確保に努めた。市補助額は、目標値2,173千円に対して2,376千円となり、目標達成できなかった。地域内でのバス停までの移動サービス(自家用有償旅客運送)を継続することで、利用者の確保に繋がっている。	バス運転手不足による市内路線の減便・休止が生じている。市や市内団体も協力し運転士不足の課題解消に取り組むことで路線の利便性維持に努める。合わせて、イベント出展や出前講座などの啓発活動によるモビリティマネジメントの推進により自動車から公共交通利用への転換を図る。
神姫バス(株)	三田市民病院～福祉保健センター～小柿	令和6年3月に策定した三田市地域公共交通計画において、当該路線を事業対象バス路線として位置付けた。関係者と意見交換を行いながらニーズに応じた公共交通の移動確保維持に向け検討している。	A 市民病院へアクセスする貴重な路線であるとともに、生活利用についても寄与することができた。	A 輸送人員の目標値15,236人/年に対して12,752人/年となり、目標達成できなかったが、令和6年度の輸送人員12,405人から増加した。市補助額は、目標値998千円に対して1,279千円となり、目標達成できなかった。貨客混載事業により、地域住民の公共交通への関心が高まり、路線維持への機運の醸成を図れた。	バス運転手不足による市内路線の減便・休止が生じている。市や市内団体も協力し運転士不足の課題解消に取り組むことで路線の利便性維持に努める。貨客混載事業の継続、イベント出展や出前講座などの啓発活動によるモビリティマネジメントの推進により自動車から公共交通利用への転換を図る。
神姫バス(株)	三田駅北口～小柿	令和6年3月に策定した三田市地域公共交通計画において、当該路線を事業対象バス路線として位置付けた。関係者と意見交換を行いながらニーズに応じた公共交通の移動確保維持に向け検討している。	A 主に通勤や通学に加えて、生活利用についても幅広い時間帯において寄与することができた。	B 輸送人員の目標値106,573人/年に対して100,683人/年となり目標達成できなかったが、利用者確保に努めた。市補助額は、目標値6,104千円に対して9,064千円となり、目標達成できなかった。貨客混載事業により、地域住民の公共交通への関心が高まり、路線維持への機運の醸成を図れた。	バス運転手不足による市内路線の減便・休止が生じている。市や市内団体も協力し運転士不足の課題解消に取り組むことで路線の利便性維持に努める。貨客混載事業の継続、イベント出展や出前講座などの啓発活動によるモビリティマネジメントの推進により自動車から公共交通利用への転換を図る。
神姫バス(株)	市役所前～三田駅北口～小柿	令和6年3月に策定した三田市地域公共交通計画において、当該路線を事業対象バス路線として位置付けた。関係者と意見交換を行いながらニーズに応じた公共交通の移動確保維持に向け検討している。	A 主に生活利用、公共施設の利用など昼間の移動に寄与することができた。	A 輸送人員の目標値15,841人/年に対して15,454人/年となり目標達成できなかったが、令和6年度の輸送人員15,255人から増加した。市補助額は、目標値1,908千円に対して2,313千円となり、目標達成できなかった。貨客混載事業により、地域住民の公共交通への関心が高まり、路線維持への機運の醸成を図れた。	バス運転手不足による市内路線の減便・休止が生じている。市や市内団体も協力し運転士不足の課題解消に取り組むことで路線の利便性維持に努める。貨客混載事業の継続、イベント出展や出前講座などの啓発活動によるモビリティマネジメントの推進により自動車から公共交通利用への転換を図る。